

2020年12月9日

整形外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定に則って行われ、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ及び、拒否される場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 手の非結核性抗酸菌症に対するリファンピシン、エタンブトール、クラリスロマイシンを用いた手術後化学療法

[研究機関] 香川大学医学部附属病院リハビリテーション部

[研究機関の長] 香川大学医学部長 上田夏生

[主任研究者] リハビリテーション部（整形外科） 病院准教授 加地 良雄

[研究の目的]

非結核性抗酸菌感染症は呼吸器疾患として良く知られていますが、稀ではあるが手にも発生します。呼吸器の非結核性抗酸菌症に対しては結核予防学会が指針を示しており、リファンピシン（RFP）、エタンブトール（EB）、クラリスロマイシン（CAM）を用いた3剤療法（3剤療法）が推奨されています。これに準じて手の非結核性抗酸菌感染症に対しても近年3剤療法が主に行われるようになってきました。しかし、稀な疾患であるため、まとまった治療成績に関する報告は少ないのが現状です。

当院でも手に発生した非結核性抗酸菌感染症患者に対して3剤療法を第一選択の治療法としていますが、当施設では本疾患の治療を多く経験していることから、本治療法の治療成績、再発率、有害事象の発生率、有害事象発生時の対処方法について調査を行うことを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

3剤療法を行った20歳以上80歳未満の患者さん。

●利用するカルテ情報（平成14年1月1日～平成27年7月31日）

年齢、性別、診断名、治療内容、医師の記録、看護記録、画像・血液・病理・細菌検査情報

●予定症例数 10名

[研究の期間]

倫理委員会承認日～2021年12月31日

[個人情報の取り扱い]

研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[研究情報の取扱い]

・研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

・研究への参加を拒否されても今後の治療内容には影響しません。

・個人情報の開示に係る手続き等に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」へご紹介ください。

[問い合わせ先]

木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院リハビリテーション部 加地 良雄

電話 087-891-2195 FAX 087-891-2196